

植生学会 第11回大会 講演要旨集



2006年10月7日-9日
信州大学松本キャンパス

植生学会

植生学会 第 11 回大会プログラム

会期 2006 年 10 月 7 日(土)－9 日(月)
会場 信州大学松本キャンパス

学会長 菊池 多賀夫
大会長 土田 勝義
実行委員長 島野 光司

大会日程

2006 年 10 月 7 日(土)

企画委員会(13:00-14:00) 講義棟 2F 3 番教室
表彰委員会(13:00-14:00) 講義棟 3F 8 番教室
編集委員会(14:00-15:30) 講義棟 2F 3 番教室
運営委員会(15:30-18:00) 講義棟 2F 3 番教室

10 月 8 日(日)

口頭発表(9:00-12:00, 14:30-17:00) A,B 会場
ポスター発表(12:00-14:30)
総会・学会賞授与式(13:00-14:00) A 会場
懇親会(18:00-20:00) 生協食堂 あづみホール

10 月 9 日(月・祝)

エクスカージョン(8:00-17:30) 霧ヶ峰コース・上高地コース

植生学会 第 11 回大会実行委員会

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学理学部気付

TEL & FAX: 0263-37-2445

E-mail: syokusei@shinshu-u.ac.jp

Web site: <http://science.shinshu-u.ac.jp/~syokusei/11syokusei.html>

講演プログラム

口頭発表 10月8日(日)午前 A・B会場

時間	A会場	B会場
9:20	A1 遺伝子組換えダイズの長期栽培が雑草の発生に及ぼす影響 ○池田浩明・吉村泰幸・松尾和人(農業環境技術研究所)	B1 東北地方における竹類天狗巣病による竹林枯死の現状 ○橋本佳延(兵庫県博), 服部保(兵庫県立大)
9:40	A2 植生復元工法施工地における1年目の森林植生復元状況 ○桑原佳子(応用生態技術研究所), 足立高行(応用生態技術研究所), 中西茂樹(エコユニット協会)	B2 大阪府千里ニュータウンにおける竹林の拡大と種多様性の低下 ○武田義明・花田暁子(神戸大学発達科学部)・内田 圭・栃本大介(神戸大学大学院総合人間科学研究科)
10:00	A3 照葉樹林の埋土種子層 ○田村和也((株)里と水辺研究所), 服部保(兵庫県立大)	B3 宮崎県綾町の照葉原生林における着生植物の種多様性 ○栃本大介((財)ひょうご環境創造協会), 服部保(兵庫県立大), 岩切康二(岩切環境技研株式会社)
10:20	A4 比良 八雲ヶ原北部湿原の自然再生 1. 計画と地形の復元工事 ○山崎俊哉・丸井英幹・梅原 徹(環境設計株式会社)	B4 里山地域における地域スケールのβ多様性 ○根本真理・星野義延(東京農工大院・農)
10:40	A5 北東北における雑木林の管理方法が林床植生に及ぼす効果 ○島田直明・平塚 明(岩手県立大)・丹治真季子(盛岡市役所)・黒田恵里(ハマゴムエイコム(株))・川嶋実菜(元岩手県立大)	B5 イヌブナ林とブナ林の分布の違いを規定する地理的環境要因 ○本間秀和・福嶋 司(東京農工大院)・松井哲哉(森林総研)・西尾孝佳(宇都宮大)
11:00	A6 萌芽更新を計画したコナラ二次林の林床管理の有無が種組成に与える経年的な影響 ○八木正徳(東京都立新島高等学校), 星野義延, 篠原正太(東京農工大・農学部)	B6 長野県ブナ天然林における葉緑体 DNA ハプロタイプの地理的分布 ○小山泰弘(長野県林総セ), 成瀬友季(名大・農), 高橋誠, 渡邊敦史(林育セ), 戸丸信弘(名大院生命農)
11:20	A7 富士山南麓の風倒跡地における9年後の植生回復と稚樹の生育状況 ○吉川正人, 加藤絵里子(農工大・農), 相場芳憲(農工大・農・名誉教授), 鷹見雅夫(住友林業(株))	B7 多摩川河川敷における表層堆積物粒径と出現する植物の種子特性の関係 ○岩田直人・星野義延・吉川正人(農工大・農)
11:40	A8 乗鞍岳における木本, 草本, シダ植物の標高経度に応じた植生変化 宮島 悠, 佐藤利幸, ○高橋耕一(信州大・理)	B8 茨城県小貝川におけるオオブタクサ発芽サイトの群落組成 ○川田清和 1・土方直美 2・中村徹 2・池田浩明 1(1 農業環境技術研究所, 2 筑波大学環境科学研究科)

講演プログラム

口頭発表 10月8日(日)午後 A・B会場

時間	A会場	B会場
	昼食, ポスター発表(12:00-14:30)	
	総会・学会賞授与式(13:00-14:00) A会場	
14:40	A9 南アルプス中・南部の高山植生群落 ○加藤健一(静岡大・理)、富田美紀(静岡大・理)、長谷川裕彦(明治大)、佐々木明彦(東北大・理)、大野啓一(横浜国立大)、増沢武弘(静岡大・理)	B9 オブジェクトベース分類による相観植生図作成手法の検討 ○鎌形 哲稔(東京情報大学・院・総合情報)、原 慶太郎(東京情報大学・院・総合情報)、森 大(国際航業)、赤松幸生(国際航業)、李 雲慶(日本スペースイメーシング)
15:00	A10 台湾の中標高域における自然林群落の種組成 ○大野啓一(千葉県立中央博物館)星野義延(東京農工大・農)、井関智裕(東京植生研究会)、星野・今給黎 順子(星野フィールドサイエンス)	B10 落葉広葉樹林帯における鎮守の森とその125年間の変化 ○三上光一(森の学校 キョロロ。)、細井雄次郎(長野市立博物館)
15:20	A11 岡山市北部の異なる地質地域における地形形状と植生との関係 ○石川笑子(岡山理大院・総情・生地)、波田善夫(岡山理大・総情・生地)	B11 都市公園(北の丸公園)と天然林(南九州)における雑種分布の比較 小林悟志(情報システム研究機構新領域融合研究センター)
15:40	A12 かしわもちとちまきの植生学的研究 服部 保(兵庫県立大)	B12 モンゴルにおけるステップ植生の植物社会学的研究 ○程云湘(筑波大・生命環境)、川田清和(農環技研)、烏云娜(大連民族大)、中村徹(筑波大・生命環境)
16:00	A13 都井岬草原における外来牧草の侵入・優占状況について ○西脇亜也・岡 秀一郎(宮崎大学農学部附属自然共生フィールド科学教育研究センター)	B13 アフリカ南西部ナミビアに分布する <i>Faidherbia albida</i> と <i>Acacia erioloba</i> の樹型・開花パターン比較 沖津 進(千葉大・園芸)
16:30	エクスカージョン説明会 霧ヶ峰コース	エクスカージョン説明会 上高地コース
18:00	懇親会 信州大学生協食堂 あづみホール	

<p>P1 高分解能衛星データを用いた植生タイプ判別の検討 -佐倉市の里山地域を例として- ○長谷川奈美(東京農工大・農)・星野義延(東京農工大・農), 原慶太郎(東京情報大)・鎌形哲稔(東京情報大)</p>	<p>P10 木曾川下流域ケレップ水制周辺の植生とタコノシの生育立地 ○比嘉 基紀, 師井 茂倫, 大野啓一(横浜国大・院・環境情報)</p>
<p>P2 衛星画像(ASTER)を用いた霧ヶ峰草原の植生変化の割合 ○尾関雅章, 堀田昌信, 川上美保子, 大塚孝一(長野県環境保全研究所)</p>	<p>P11 木曾川下流域ケレップ水制周辺に生育するタコノアシ個体群の立地環境 ○師井 茂倫, 比嘉 基紀, 大野啓一(横浜国大・院・環境情報)</p>
<p>P3 東海地方の湧水湿地における微生物立地が植生構造に及ぼす影響 ○肥後睦輝・岡田篤史(岐阜大学地域科学部)</p>	<p>P12 長野県上高地における地形変化と植生動態 ○川西基博(立正大 ORC), 島津弘(立正大・地球環境), 石川慎吾(高知大・理), 岩田修二(立教大・観光), 山本信雄(松本市安曇資料館)</p>
<p>P4 ヨシ根切りによる低茎の湿性草本群落の再生 ○関岡裕明((株)テクノグリーン), 平山亜希子, 松村俊幸(ハスプロジェクト推進協議会)</p>	<p>P13 三峰川下流部河川敷における外来植物オオキンケイギク <i>Coreopsis lanceolata</i> 侵入群落の構造と立地環境条件 ○斎藤 達也(信州大・院・農), 大窪久美子(信州大・農)</p>
<p>P5 立命館大学自然緑地内における植生保全 -移植された中間湿原の管理手法の検討- ○迫田昌宏・原田 昭(中外テクノス株式会社)・橋詰琴美(学校法人立命館)・吉田 真(立命館大・理工)</p>	<p>P14 特定外来種ナルトサワギク (<i>Senecio madagascariensis</i> Poiret) の兵庫県淡路島における分布と生育立地特性 藤原道郎(兵庫県立大学自然・環境科学研究所)／兵庫県立淡路景観園芸学校)</p>
<p>P6 富山県内のアヤマ科植物の分布と群落の種類組成 ○山下寿之・中田政司・神戸敏成・大原隆明・橋屋誠(富山県中央植物園)・李宏哲(雲南省昆明植物研究所)</p>	<p>P15 長野県飯山地域におけるカツラマルカイガラムシによる樹木枯れ ○大塚孝一, 尾関雅章, 須賀文(長野県環境保全研究所)</p>
<p>P7 外来種キツネノマゴ科ヤナギバルイラソウの生態的特性と侵略性の検討 ○宮本裕美子・石川慎吾・三宅尚(高知大学・理学部)</p>	<p>P16 つる被害を放置した人工林における植栽木の被害実態 ○小野逸人, 荒木真之, 上條隆志, 中村 徹(筑波大・生命環境)</p>
<p>P8 高知県新荘川における河床の複断面化と河辺植生の変遷 -特にツルヨシ群落の専有面積の拡大について- ○橋本恵・浅原暢貴・石川慎吾・三宅尚(高知大学・理学部)</p>	<p>P17 ハヶ岳西岳南西斜面における管理放棄型カラマツ植林地の群落構造 ○磯谷達宏・樋口健太郎(国士舘大・文・地理)</p>
<p>P9 踏圧を利用した河川高水敷の植生転換 ○高橋和成(岡山理大院), 山本圭太(岡山芳泉高), 波田善夫(岡山理大)</p>	<p>P18 斜面工法の異なる植栽林の下層植生における組成および種数の比較 ○黒田有寿茂, 澤田佳宏, 服部保(兵庫県博・兵庫県立大)</p>

<p>P19 淡路島に生育するアゼトウナの分布状況を基にした生育地の保全に関する一考察○長島千夏(兵庫県立淡路島景観園芸学校), 藤原道郎, 一ノ瀬友博, 美濃伸之(兵庫県立淡路島景観園芸学校/兵庫県立大)</p> <p>P20 スキー場は草原生植物の避難場所として機能するか? 兵庫県但馬地方におけるスキー場植生の種組成 ○澤田佳宏(兵庫県博), 松村俊和(兵庫県和田山農林), 黒田有寿茂, 服部保(兵庫県博・兵庫県立大)</p> <p>P21 東京 23 区西北部地域の広域避難場所における樹林の防火力診断 ○山崎智彦(東京農工大・農), 福島司(東京農工大・院・共生科学)</p> <p>P22 神戸市再度山永久植生保全地におけるマツ林の遷移 ○福井 聡(神戸大・院・総合人間科学), 武田義明(神戸大・発達科学), 小舘誓治(兵庫県立大), 高橋敬三(神戸市森林整備事務所)</p> <p>P23 早池峰山における高山植物の出現状況 ○竹原明秀・佐藤雅巳・村田野人(岩手大・人文社会)・千葉博(岩手県立不來方高校)・高橋秀洋・小水内正明((社)東北地域環境計画研究会)</p> <p>P24 八甲田山の山地帯から亜高山帯にかけての林内表層堆積物の花粉組成と植生の関係 ○中村琢磨(横国大・院・環境情報), 高原 光(京都市大院)</p> <p>P25 東北地方オオシラビソ疎林の実生定着を規定する要因について ○若松伸彦・大野啓一(横浜国大・院・環境情報)</p>	<p>P26 九州脊梁山地のモミ・ツガ林 -冷温帯落葉広葉樹林移行帯における尾根植生の変異と立地環境 ○伊藤哲・近澤亜也子(宮崎大学農学部)</p> <p>P27 奥鬼怒地域におけるウラジロモミ・シウリザクラ林の構造と 13 年間の森林動態 ○別所直樹(筑波大・生命環境), 小川みふゆ(森林総合研究所), 上條隆志(筑波大・農林学系), 津山幾太郎(筑波大・生命環境)</p> <p>P28 三宅島照葉樹自然林における 2000 年噴火前後の植生変化 ○仲山真希子(筑波大・院・環境科学), 上條隆志(筑波大・生命環境)</p> <p>P29 伊豆諸島利島における東西斜面間での垂直分布の差異の成因 小嶋 紀行(横国大・院)</p> <p>P30 熱海市の植生に関する植物社会学的研究 -コナラ林を中心として- ○牛島早絵, 山本美和, 大野啓一(横国大・院・環境情報)</p> <p>P31 中部山岳におけるシダ植物相の山塊効果について ○佐藤利幸, 尾花陽介, 高橋耕一, 井田秀行(信州大・山岳総研)</p> <p>P32 サドノウサギの植生利用 ○清水理恵・島野光司(信州大・理・物質循環)</p> <p>P33 松本市街地の水路特性と水生動植物 -市街地における水路の価値を見直す- ○百瀬 剛・山本雅道・桜井智子・松本章夫・山田徳生・島野光司・吉田利男(NPO 法人 川の自然と文化研究所)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

一般講演に関する注意事項

口頭発表

1. 講演時間は発表 15 分, 質疑応答 4 分 30 秒です.
2. 次の講演者は会場の前方に座席を用意しておりますので, そちらで待機して頂き, 講演者の迅速な交代にご協力下さい.
3. 講演には, パーソナルコンピュータに接続したプロジェクタ, 並びに OHP が使用できます. 当日の操作は本人, 並びに共同発表者で行って下さい.
4. パーソナルコンピュータで使用できるのは, PDF ファイルのスクリーンショウか, パワーポイントによるスクリーンショウです. ファイルは, あらかじめ実行委員に提出して下さい.
5. パソコンは当実行委員会が用意したものを使用して下さい.

ポスター発表

1. ポスター発表用に縦 180cm×横 90cm のボードを設置します. ボード左上隅に発表番号を張るための余白を残して下さい(10cm×10cm).
2. ポスターは発表当日の 8:30 から 12:00 までの間に貼って下さい.
3. ポスター発表のコアタイムは 12:00-14:30 です. ただし, 13:00-14:00 の間は総会と学会賞授与式がありますのでそちらに参加して下さい.
4. ポスターの撤去は当日 17:00 までに完了して下さい. はり残されたポスターは, こちらで処分させていただきます.

懇親会について

1. 懇親会はキャンパス内の大学生協食堂「あずみホール」で行います.
2. 当日も懇親会の参加は受け付けますが, 学生の割引などはありません.
3. 懇親会会場へ入場する際は, 必ず名札をご持参下さい.

エクスカージョンについて

1. どちらのコースもハイキングスタイルでご参加下さい. 雨具, 防寒具を忘れずにお持ち下さい.
2. 移動はどちらも貸し切りバスでの移動を原則とします. ご自分の車で参加される方も参加費は変わりません
3. 昼食はご自分であらかじめご用意下さい.
4. 口頭発表終了後, 説明会を行います. エクスカージョンに参加される方は, ご出席下さい.

会場案内図



会場は信州大学松本(旭)キャンパスにある理学部内です。

駅からバスで来られる方

松本駅を東口へおり、右斜め前方にあるエスパ(鉄筋8階建てのスーパー・マーケット)の一階がバスターミナルです。一度、地下一階に下りた後、階段を上がって、バスターミナルの8番プラットフォームに出ます。

「信大経由浅間温泉行き」のバスに乗り、「大学病院前」を通過し、「信州大学西門」で降りるのが便利です。

後ろ乗り前降り、料金は後払いです。20分ほどです。西門を入り、すぐ右手に見える建物が会場となる理学部です。

市内からタクシーで来られる方

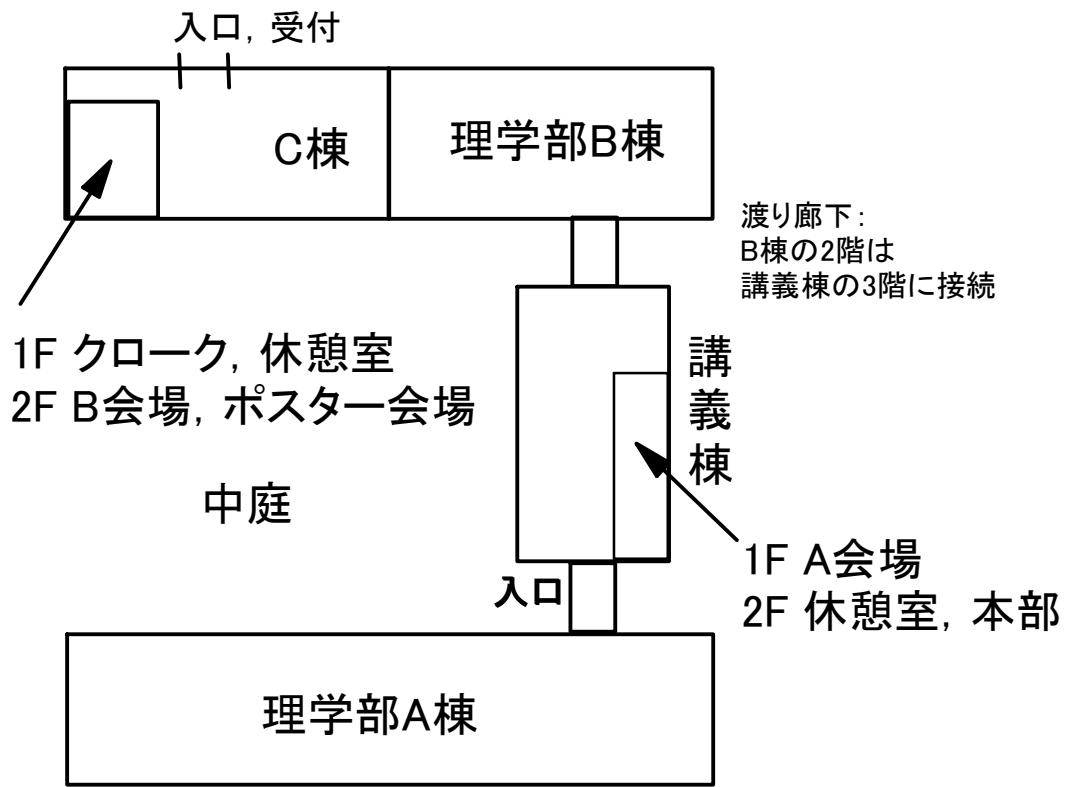
信州大学「西門(せいもん、ではなく、にしもん)」と指定していただくと便利です。門の向かいにコンビニエンスストアがあるのが西門です。西門を入れてすぐ右手に見える建物が会場となる理学部です。

信州大学松本キャンパス案内図



講演会, 会議等は, 理学部の建物で行います.
懇親会は生協食堂の「あづみホール」で行います.

理学部内案内図



- ・西門からキャンパスに入ると、右手に見える建物が理学部 C 棟です。
- ・この C 棟の入口を入ると受付、クロークがあります。2 階に B 会場、ポスター会場があります。
- ・A 会場、本部などは講義棟と呼ばれる建物にあります。建物内の案内図に従って移動して下さい。

講演要旨

植生学会 第 11 回大会実行委員会

大会長： 土田 勝義
実行委員長： 島野 光司
実行委員(会計)： 高橋 耕一
実行委員(エクスカージョン)：土田 勝義
実行委員(懇親会)： 井田 秀行
実行委員(会場係)： 佐藤 利幸

植生学会第 11 回大会講演要旨集

2006 年 10 月 7 日発行

編集・発行 植生学会第 11 回大会実行委員会
〒390-8621
長野県松本市旭 3-1-1
信州大学理学部内
Tel & Fax: 0263-37-2445

印刷・製本 信教印刷株式会社
〒381-0022
長野県長野市大豆島東沖 4321
Tel: 026-222-5222